

要請番号 (JL01218B05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
フィリピン	G238 料理		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国家経済開発庁 ボランティア調整局

2) 配属機関名 (日本語)

スバング技術職業学校(調理コース)

3) 任地 (セブ州マンドゥエ市) JICA事務所の所在地 (マニラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はセブ島中部に位置するマンドゥエ市内(人口約30万人)にある職業訓練学校。1987年に設立され、全校生徒数は中学校400名、高校(職業訓練校)200名、年間予算は約540万円。隣接する地域(セブ市)内の大学でボランティア(料理)が活動しており、今後双方の連携を通じた協力も期待されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

フィリピンでは2013年に「基礎教育改革法案」が制定され、段階的に義務教育期間の延長(10年制から12年制へ変更)が施行されるなど、教育環境の変化と共に授業カリキュラムも大きく変更されている。新しいカリキュラム(K to 12 プログラム)では、これまで4年間だった中等教育が6年に延長され、シニアハイスクール(2年間)が設立された。配属先はシニアハイスクールの設立に際し、現地の企業ニーズに応え、就職後早く戦力に加わるよう、溶接、縫製、調理の3つの職業訓練コース設立した。しかし教える側の知識、技術も十分とは言えない状況であるため、教員の指導能力の向上を目指し、JICAボランティアが要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

JVは学校に設置されている機材を利用しながら、生徒が就職後に役立つ実践的な授業を行える体制構築をめざし、以下の活動を行う。

- 1.同僚教員と共にアジア系料理(主に日本食)の授業を担当し、生徒に調理方法や食品衛生管理等に関する指導を行う。
- 2.料理コースの授業をモニタリングし、授業内容の質向上に向けたアドバイスや教材作成の支援を行う。

付随的な活動として、各種学校行事での補佐、学校環境の改善なども求められることが予想される。(フィリピンにおいては免許の関係上、JV単独での児童への直接授業を行うことができないため、指導はチームティーチングもしくは試演授業の形式となる。)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

オーブン、ガスレンジ、ミキサー、調理器具一式

4) 配属先同僚及び活動対象者

学校長:40代男性

教員:40名(20代~60代)

主たる同僚:料理コースを担当する教員2名(30代~40代)

活動対象者:主たる同僚2名と料理コースの生徒52名(16~17歳)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（専門学校卒） 備考：同僚とのバランス

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（25～35℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

特記事項補足:調理師、栄養士、家庭科教員免許、栄養教諭のいずれかを持っていること。